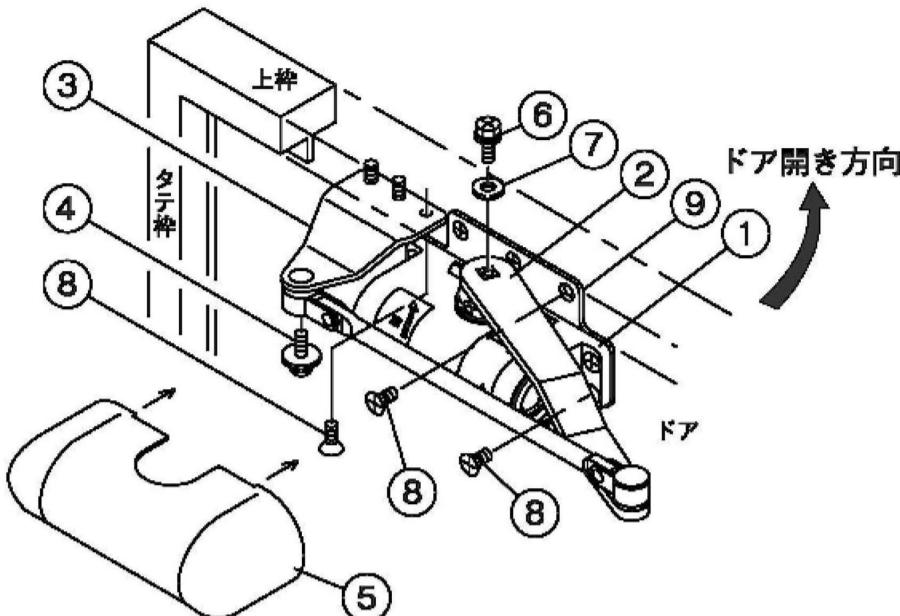
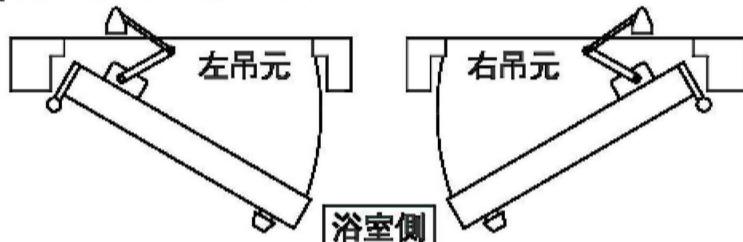


## 1 部品名称と全体組立図 (本図は右吊元の場合を示す。)



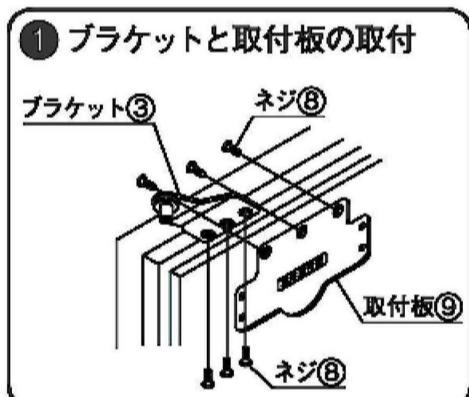
No.	部品名稱	員数	備考
①	本体	1	
②	アーム・リンク(結合品)	1	
③	ブラケット	1	
④	ブラケット・リンク結合用ネジ	1	⊕ナベ小ネジ(セムス)M5×12L
⑤	本体用カバー	1	
⑥	本体・アーム結合用六角ボルト	1	⊕六角ボルト(セムス)M5×16L
⑦	本体・アーム結合用ワッシャ	1	呼び5
⑧	本体・ブラケット取付ネジ	7	⊕皿小ネジ M5×8L
⑨	取付板取付ネジ	3	
⑩	取付板	1	
	六角棒スパナ	1	呼び1/8"

## 2 開き勝手の決め方

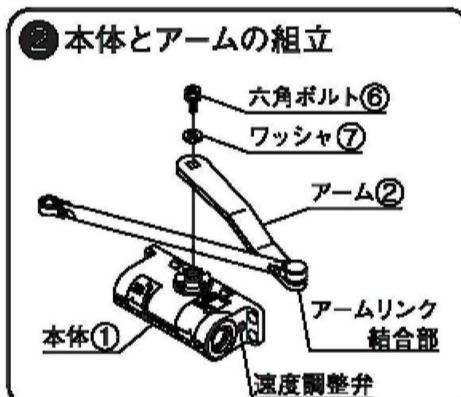


このドアクローザは、左右兼用ですので、ドアの開き方向に関係なく速度調整弁が、ロック側になるように取付けを行ないます。

## 3 取付順序 (以下①②…⑤の順に全体組立図を参照しながらお取付けください。)

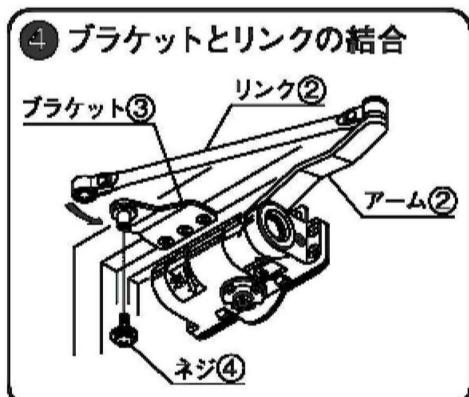
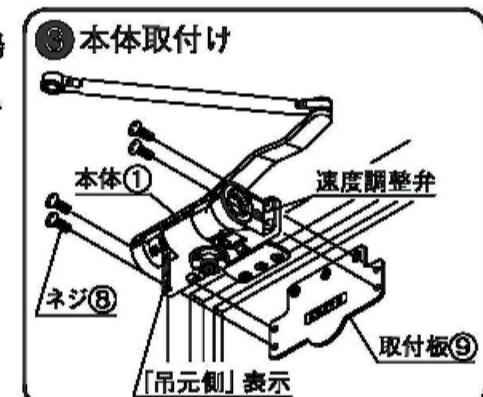


取付板は、ウラとオモテを確認してください。  
「本体取付面」の文字  
が見えるように、取付けてください。  
〔取付穴は、あらかじめ工場で加工してあります。〕

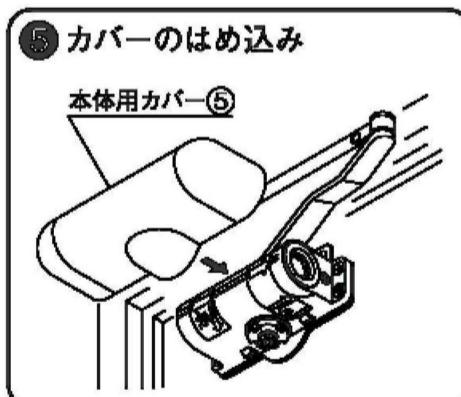


ネジ止めが不完全な場合、ストップ開放時に異音が発生しますので結合用ネジをしっかりと締付けてください。

※速度調整弁・アームリンク結合部をロックの方向に向けます。



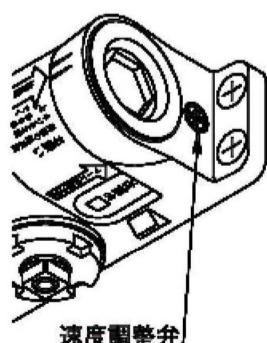
アームを手前に引きながらリンクをブラケットに差し込みます。



※閉じ速度の調整は、  
④閉じ速度の調整方法をご覧ください。

## 4 閉じ速度の調整方法

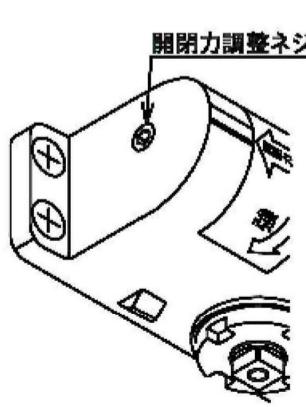
工場出荷の際遮正スピードにセットされていますが、左図の速度調整弁を、次のようにまわすと速度の調整ができます。



- (+) 右(時計の方向)にまわすと閉じ速度は速くなります。
- (-) 左(時計と反対の方向)にまわすと閉じ速度は遅くなります。

注意 速度調整弁は、2回転以上ゆるめないでください。  
〔速度調整弁を2回転以上ゆるめると、速度調整弁がはずれ油がもれます。〕

## 5 開閉力の調整

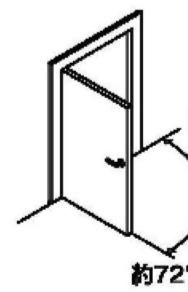


工場出荷の開閉力は最大にセットされています。(初めは右に回りません)  
左図の開閉力調整ネジを、次のようにまわすと開閉力の調整ができます。

- (+) 左(時計と反対の方向)にまわすと開閉力は弱くなります。  
(最大約8回転まわります)
- (+) 右(時計の方向)にまわすと開閉力は強くなります。  
(初めはまわりません)

注意 開閉力調整ネジを左右に無理にまわし過ぎると、破損するおそれがあります。

## 6 ストップ装置



● ドアを約72°あけるとストップ装置が働き、任意の角度でドアの開放維持ができます。

● ドアを閉める場合、約72°の位置までもどせば後は、自動的に閉まります。